

第 1 検討部会 会議録

会議の名称	第 6 回 第 1 検討部会
開催日時	平成 19 年 10 月 26 日（金）午後 6 時 02 分から午後 8 時 59 分まで
開催場所	川口市職員会館 3 階会議室
出席者	（部会長）金井副委員長 （委員）池田委員、落合委員、金子委員、神尾委員、佐藤委員、林委員、宮原委員
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・策定委員会向け報告資料（案）について ・副部会長の選出について ・栗原氏（元教育長）インタビュー ・今後の進め方について
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・策定委員会向け報告資料（案） ・栗原氏レジュメ
発言内容	<p>策定委員会向け報告資料（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず次回策定委員会で他の部会の方に報告する内容について、議論したいと思います。 <p>（資料の説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何か今の段階でお気づきの点はあれば、発言をお願いします。 ・永瀬前市長へのインタビューのなかで、川口らしさとは何かという問いかけに対し、川口のものづくりの心を継承することであるということ、鑄物工場が減っても別のところでずっとつながっているということを感じました。このことは、ぜひ加えていただきたいと思います。 ・鑄物が衰退しつつあっても、機械工業を中心にものづくりが受け継がれているという点ですね。 ・要約に何を盛り込むかというのは大変大切なことだと思います。策定委員会まで時間がありませんので、加筆修正したい点を 29 日（月）中に市事務局までご連絡ください。 <p>副部会長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副部会長の選出を行いたいと思います。 ・特に決まったルールはありませんが、委員長からの示唆では人数のバラ

ンスを考慮して公募から 1 名、各種団体・市議から 1 名ということですが、これでよろしいでしょうか。

- ・各委員とも異議なし
- ・部会によっては枠にとらわれず話し合いによって決めているようですが、公募委員から 1 名、各種団体・議員から 1 名という枠は作らなくてよいのではないのでしょうか。
- ・バランスを考えると、公募委員と議員で 1 対 1 のほうがよいと思います。
- ・構成委員の割合を比例配分して、バランスをとるという意味で、1 対 1 という枠を設定したわけですが。
- ・各委員とも異議なし
- ・本日欠席の方からは部会の決定に任せるという旨をいただいています。
- ・それでは、まず議員・各種団体の方から 1 名お願いしたいと思います。
- ・(各委員から) 金子委員をお願いしたいと思います。
- ・次に、公募委員の方からはいかがですか。立候補される方は。
- ・立候補したいと思います。
- ・私も立候補します。
- ・それでは、複数の方から立候補の申し出がありましたので、立候補にあたっての決意を伺いたいと思います。
- ・私は第一部会の全部の会議に出席しています。また今日の要約版に書かれていることも全部わかりますし、この中には私の意見が反映されている箇所があります。
- ・調整部会では、ご自分の意見を言うための場というわけではなく、部会との橋渡し役なのですが。
- ・私は九州で生まれまして、縁があって川口に住むようになりました。環

境ボランティアで子どもたちに携わっています。川口らしさ、いいものを未来に残していきたいという気持ちです。他の部会のエッセンスも聞きながら条例の中に盛り込んで、世代が変わってもいいものと思われる条例になるよう一助になればと思います。とにかく、このまちが好きになりました。

- ・副会長には絶対に女性がいいと思います。お二人とも副会長にはふさわしい方だと思います。ただ、一番大事なのは、自分ではできませんが、この席に定刻に着けることが大切だと思います。お二人でよく話し合いをしていただきたいと思います。
- ・決め方はいろいろありますが、お二人にはこの場をいったん離れていただいて、お二人でまず話し合われてはいかがでしょうか。私も同席いたします。それでは暫時休憩にします。

(部屋を出て話し合い)

- ・再開します。話し合いの結果、神尾委員にお願いすることになりました。よろしくお願いします。
- ・神尾委員よろしくお願いします。ただ一点申し上げたいのは、私は遅刻したというのではなく、自転車で 40 分かけて来たり、会合とぶつかったりで、そのことをもってどうかということを基準にするのはいかがかと思います。
- ・それでは皆さんお忙しいとは存じますが 11 月 7 日の策定委員会では皆さんよろしくお願いします。

栗原氏インタビュー
別添インタビューメモを参照

今後の進め方について

- ・今後、必要な場合は、委員が個々にインタビューに行ってください、部会ヘフィードバックしてもらう方法もよいかと思います。

- ・市の教員の平均年齢が気になります。団塊の世代が抜けた後のことや、30歳代から40歳代にかけての人材が少ないことが気になります。
- ・これは日本の民間企業にも通じる問題です。
- ・今後の運営は、皆さんからもアイデアをいただきたいと思います。また、様々な方へのインタビューを通じてイメージがつかめてきたかと思しますので、よもやま話として終わらせるのではなく、それらをきちんと抽象化してストーリーをどう組み立てていくかが我々の仕事であると思います。伺ったお話をどのように理念・ルールにまとめていくかであると思います。
- ・聞いた中で何がなかったかを抽象化して皆さんでまとめることができればおもしろいものができると思います。しかし、川口は昭和20年頃は本当に活力があったと思います。
- ・永瀬前市長はとても個性的な方だと思いました。
- ・他の部会でもいろいろと検討していると思いますが、我々も勉強してきたことから何を導けるかを全体に示すべきと思います。
- ・グラフにたとえるなら、他の部会が横軸とすると、第1部会は縦軸の役割を担っていると思います。歴史を振り返りながら現代でどうしていくかを条例の中でどう生かしていくかを考えながら、同時にいろいろな話を聞いていくことが必要と思います。
- ・他の部会がどのようなところに興味があるのか、全体会を楽しみにしたいと思います。
- ・今後もインタビューを続けていきたいと思います。具体的には、市民団体関係者、鋳物関係者、経済団体関係者、環境団体関係者、ボランティア関係者、NPO関係者、中間支援関係者、町会関係者などがいかがかと考えています。
- ・川口の活動の中でどこに金を使ってきたか、あるいは、市民がどこにお金を使ってきたかという観点から地元信用金庫の関係者をお招きすることもいいのではと思います。
- ・次回(11月7日)の全体会の内容は何でしょうか。
- ・各部長から部会の経過報告をいただき、委員全員での情報の共有化を図ることと各部会から選出されました正副部長を運営調整部会員とし

てご承認をいただき、運営調整部会を設置し、ただちに第1回の運営調整部会を開催することです。

- ・運営調整部会の役割は何でしょうか。
- ・今のところ、事務局としては、単独の部会で処しきれない事案をご検討いただくことなどを想定しています。
- ・開催の間隔はどのようになるのでしょうか。
- ・とりあえずは、状況を見ながら必要に応じて開催されるものと想定しています。50人の委員全員に頻繁にお集まりいただくことは困難であると思いますので、まず、運営調整部会で課題や問題を処理していただき、その結果を部会にフィードバックしていただくというようなやりとりをしていただくことを想定しています。
- ・条例の文案は、各部会で作るのか、あるいは、この運営調整部会でつくっていくようになるのか、どちらでしょうか。
- ・今のところは、この調整部会が起草部会となって、文案の作成に携わっていただくことになろうかと思いますが、運営調整部会の役割についてご説明してきた内容は、あくまでも事務局の案ですので、今後、委員の皆さんで協議してお決めいただくこととなろうかと思います。
- ・5つの部会にそれぞれ先生がおり、それぞれの先生の切り口があるのでそういった多角的な見方を調整していただくことになるのかと思います。いずれにしても我々は歴史を振り返り踏まえながら将来をも見据えた中で、現在における最良のものを作っていかななくてはいけないという思いです。
- ・運営調整部会は、どこまで役割を持たせるか、何をやらいいかで堂々巡りをするのではないかと思います。個人的には、運営調整部会は開かないで済む状況にしたいと思っています。分業して進めていて矛盾する意見がでた時に調整するような最小限度の役割にとどめたほうがいいと思います。矛盾しないのであれば、両方取り込めばいいわけですし、調整は少ないほうがいいと思っています。運営調整部会で部会の進め方で決めることはできないわけですし、そういったことになれば、全体会で決めるしかないと思います。
- ・全体会での第1検討部会の資料の内容確認については、来週の月曜日(10

	<p>月 29 日)までに事務局へ申し出ていただきたいと思います。なお、全体会までの時間的な余裕を考えると、それらを委員の皆さんにフィードバックして再度調整した結果をお示しすることが難しくなる可能性があります。その際は、部会長に一任していただけますでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員とも異議なし ・それでは、他の部会にアピールすべき内容など積極的にお申し出ください。皆様のご協力をお願いします。 ・今後、ゲストを呼ぶ場合は、1回の部会で1人にしていただき、ゆっくり話を伺いたいと思います。 ・この部会も回を重ねていろいろとお人柄などもわかってきましたので、このあたりで日本的コミュニケーションの懇親会を開催できればと思いますがいかがでしょうか。 ・各委員とも了解する。(次回 11 月 15 日の第 7 回部会終了後に開催することが決定)
次回以降日程	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は 11 月 15 日(木) 18 時から、次々回は 11 月 28 日(水) 18 時から